

(別添資料1)

事業所名

言語・発達サポートルームソラシドすてっぷ。

支援プログラム

作成日

令和7年

8月

1日

法人（事業所）理念		『お子さまの成長、ご家族の想いに寄り添い共に歩む』					
支援方針		お子さま一人ひとりに寄り添い、「1対1の個別指導・個別訓練」を基本とした支援を行っています。 お子さまの特性や成長のペースに合わせたオーダーメイドのカリキュラムを作成し、楽しく学びながらできることを少しずつ増やしていけるようサポートします。 発達に特性のあるお子さまたちは、乳幼児期に育ちきれなかった「感覚」や「身体」の土台が不安定なまま、学習というステージに立っていることがあります。 私たちは、「できない」ことを努力不足ではなく“支援のサイン”と捉え、身体や感覚の基礎づくりから丁寧に整え直すことで、安心して「考える・学ぶ・挑戦する」土台を育てます。 子どもたちの「わかった!」「できた!」の積み重ねが、自信と成長へとつながるように。					
営業時間		10 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	なし
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	*個別支援を軸としながら、子どもたちが安心して日常生活のスキルを身につけられるよう支援を行います。 1. 自主性と自己管理の支援 自分の荷物の管理（持ち物の整理、保管場所の確認など）… 遊具や学習教材の準備・片付け 学習支援や言語訓練への自主的な参加の促進。挨拶や笑顔でのコミュニケーションの習慣化 2. 生活動作の支援 必要に応じた基本的な生活習慣の支援（無理のない声かけ・同伴・援助による安心した排泄習慣の獲得など）…着替え、靴の着脱、箸や鉛筆の持ち方など、日常動作の支援 3. 時間や空間の使い方の支援 言語訓練や学習支援を通じて、その子にとって適切な環境や支援方法の提案					
	運動・感覚	*生活の中で苦手な動作について、単なる反復練習ではなく、困難の背景をアセスメントし、体の動きの基礎作りや微細運動の援助、理解を支援します(課題の分析と基礎作り) 例えば、鉛筆を持つことが難しい、うまく文字が書けない子どもに対して、その原因をしっかりと見極めます。 微細運動が苦手な背景に、粗大運動の経験が少ないことが原因となっている場合があります。このような場合は、まず身体全体を使った遊び、感覚統合を促す粗大運動を取り入れます。 風船を使ったキャッチボールや平均台など、楽しく取り組める遊びを通して、体を大きく動かすことから細かな動きへ段階的なアプローチを行います。 前庭覚・固有覚など「感覚の根っこ」からのアプローチで、身体を育てます。 また、視覚の使い方が影響している場合はビジョントレーニングを行うことで、視覚刺激をしっかりと捉え、目と手の協調動作がスムーズになるようサポートします。 このように、それぞれの子どもが楽しく挑戦できる環境を整えながら、「苦手」を少しずつ乗り越えられるように支援していきます。					
	認知・行動	*お子さまがどのような発達の段階にいるのか、苦手な背景（視覚・聴覚・注意力等）をアセスメントし、個別最適な方法を提供します。 たとえば、数の概念を自然に身につけられるような遊びを通して、思考や行動の基盤として役立てられるよう支援していきます。 学校内容に近い教材でわかりやすく・疲れにくい学習支援、お子さまに合わせた教材を使い苦手な部分を少しずつ減らしながら、自信を持って学べるようにサポートします。 「PECS」などを使用し、自発的なコミュニケーションと行動を促すよう支援します。 英語は、歌あそびややりとりを通じて「楽しい」「わかる」から始める導入支援を行います。 個別最適な方法を提供「できた!」「わかった!」という気持ち大切に、お子さまが自分のペースで成長できるよう支援していきます。					
	言語 コミュニケーション	*言語聴覚士がアセスメントを行い、お子さま一人ひとりの発達段階に合わせたプログラムを作成します。 意味のある言葉が出てこない、少ない。ことばを使ったやり取りが難しい、続かない。ことばの音がはっきりしない、間違える。話始めにことばを繰り返す、詰まる、引き伸ばす（吃音）などことばに関する相談や支援を行っています。 また読み書きのつまずきに応じた支援（逐次読み・拗音・促音の課題分析と支援）、必要時には療育主任による読み書きアセスメントの実施を行なっております。 多感覚教材、ITC機器の活用、音韻・視覚・運動面の支援を通じて、書字困難なアプローチします。 *言語聴覚士と職員による個別訓練を実施します。 個別訓練を基本としスタッフ全員によるチームアプローチでサポートします。言語聴覚士と担当職員が情報を共有し、最適なカリキュラムを立てて個別指導を行います。 見通しを立てる力やルール理解などSST的視点も併せて支援します。 お子さま一人ひとりのペースに合わせて、温かく丁寧なサポートを提供します。					
	人間関係 社会性	*子どもたちが安心して人と関わり、豊かな人間関係を築けるように、個別指導・訓練を通して社会性の発達をサポートします。 1. アタッチメントの形成 子どもが「安心できる大人」との関係築くことで、人と関わる土台を育みます。スタッフが寄り添いながら、一緒に遊んだりお話をしたりすることで、心のつながりを大切にします。 2. ゲームや遊びを通じた関わりの練習 スタッフと一緒にカードゲームやすごろく、協力型のボードゲームを楽しみながら、人と関わる練習をします。「勝っても負けても楽しい」「友だちと協力するともっと楽しい」と感じられるように、遊びを通じてポジティブな体験を積み重ねていきます。 3. 日常のコミュニケーションのサポート 日々の会話やあいさつの練習を通して、相手に気持ちを伝えたり相手の気持ちをくみ取ったりする力を育てます。円滑な人間関係を築けるように支援します。 子どもたちが安心して人と関わり、社会の中で自分らしく過ごせるように、温かい環境の中で支援を行います。					
家族支援		家族の子育てに関する困りごとに対する相談援助 子どもの発達状況や特性の理解に向けた相談援助			移行支援		・移行先との支援方針、支援内容の共有や、こどもの状態、親の意向、支援方法についての伝達・移行先の受け入れ体制づくりへの協力 ・移行先への相談援助・進路や移行先の選択についての本人や家族への相談援助
地域支援・地域連携		・各種関連機関（学校、相談員）との連携を図る			職員の質の向上		・事業所における研修会や勉強会の開催や事業所に講師を招いての研修会の実施 ・事業所内における職員の自己研鑽のための図書の整備等
主な行事等		・外部講師を招いて保護者向け「お話し会」等					